

No.98

2024.5.23

協会だより

富士見市日中友好協会
TEL/FAX.049-254-5762
<http://www.jc-sf.com>

第9回 チャイナサロン

ミニ講話と座談会のご案内

- ◎日時 2024年6月16日(日)
午後1:30~午後4:30 (無料)
- ◎場所 みずほ台コミュニティセンター 2階 集会室(1-3)
〒354-0018 富士見市西みずほ台1-19-1
TEL:049-254-2221
- ◎話者 于 洋 (ウ ヨー)様
- ◎タイトル 日本の社会保障制度
(自分や家族、国民の将来の生活について考える)

城西大学 副学長 評議員 教授 経済学博士 富士見市在住、富士見市日中友好協会会員 社会保障制度の国際比較や高齢者福祉政策の国際比較を研究

于 洋さんは、中国の高校、大学を卒業して後来日して早稲田大学大学院で経済学を学び博士号を取得。その後城西大学の教員となり、現在同大学の副学長を務めておられます。ご専門は社会保障制度、高齢者福祉政策です。

日本の社会保障制度は、高齢者に対する充実した福祉政策で知られています。特に年金と医療保険の分野では、高齢者が重い病気に罹患しても生活が破綻しないようなサポート体制が整っています。これは、アメリカや中国と比較しても顕著で、日本はしばしば「福祉国家」と称されます

しかし、2019年に話題となった「老後資金2000万円不足」問題は、公的年金への過度な依存と長寿化による生活費の増加が原因とされています。この問題は、個人の資産形成や老後のライフプランに対する意識改革を促すきっかけとなりました。日本と中国や米国の社会保障制度の比較研究は、それぞれの経済的・社会的背景を理解する上でも重要な意味を持ちます。それぞれの国の制度がどのように高齢者の生活を支え、社会全体の持続可能性に貢献しているかを探ることは、今後の政策策定において貴重な洞察を提供するでしょう。

于さんの社会保障制度に関する長年の研究から示唆される、自分や家族、国民の将来の生活について考える糧になる話を伺い懇談しませんか？